第２５回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年１２月２３日（月）　１８：３０～１９：３０ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁　第２委員会室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦  (部 会 員)工藤　保秋、冨永　史人  (庁内委員)佐藤　智  (事 務 局)大越　智輝、今野　沙弥 |
| 欠席者 | (副部会長）谷﨑　博美  (部 会 員）荒川　昌伸、西尾　拓也  (庁内委員）相馬　裕一 |
| 議題 | 道の駅建設の検討経緯について |

【道の駅の検討経緯について】

～道の駅建設の検討経緯について、事務局から説明を行った～

（視察の内容）《事務局》

・平成２７年６月１２日から１５日の４日間、登別商工会議所の登別経済振興プロジェクト会議のメンバー６名と市職員１名で道の駅の視察を行った。

・視察した道の駅は１１箇所で、福岡県、大分県、山口県の３県の道の駅をレンタカーを借りて回った。

・１１箇所の中には、地元の海で獲れた新鮮な魚介類を販売している場所、地元で収穫した野菜や果物の直売を行っている場所、獲れた果物を使ったオリジナル商品を開発している場所、地域の方が趣味で作ったオリジナル作品を展示・販売している場所、手作りの惣菜を販売している場所などがあった。

・単純に地元のものを売るだけではなくて、取り組みを通じて地域活性化を図り、まちづくりの拠点として道の駅を使っているところを視察してきた。

・平成２７年当時、商工会議所の経済振興プロジェクトの中では、市民に喜ばれ愛される施設であること、地域の活性化やまちづくりの拠点機能を持つことを念頭に置き、施設全体が将来に亘って持続的に運営可能になるようなマーケティング手法の検討も考えていた。

（視察後の課題）《事務局》

～視察後、以下の課題が挙がった～

・地場産品やご当地グルメが不足しているのではないかといった売り物の課題。

・持続可能な経営組織の検討、経営システムの構築実現のための資金の課題。

・マーケティングに精通したリーダーが必要ではないかという課題。

・登別温泉の物販をはじめ、市内の既存事業者とのバッティングの課題。

・全国的に赤字経営のところが多く、持続可能な経営がしていけるのかという課題。

・２４時間使用可能のトイレやインフォメーション機能の設置に伴うランニングコストの課題。

（現状）《事務局》

・現在、市や商工会議所での検討は行っていない。

・市制施行５０周年の記念事業の一環で、期間限定の道の駅を高校生のアイデアも含めて実施する予定である。

（意見）《部会員》

・商工会議所のメンバーが視察に行った結果、進んでいないということは、儲からないと判断したということだから、それだけリスクが大きいと感じる。

・室蘭の道の駅は、最近は食堂が出来て賑わっていると聞いている。何を売るのか、赤字だったらどうやって黒字にするかという経営の仕方だと思う。

・国道を走っていて道の駅があると、寄っていこうかなとなるし、その地域なりの物産が多少なりともある。

・すぐ近くに成功例の伊達市がある。場所も良かったがやり方も先進的だった。成功しているところに視察に行ってノウハウを得た方が良い。

・以前、道の駅の話が出ていたときに、仮に飲食機能を入れるとしたら、地元のレストラン、食堂と重なるという話が出ていたこともある。既存の事業者との兼ね合いが気になる部分はある。

・道の駅は通りすがりの観光客というイメージがあるため、登別温泉とはあまり客層がバッティングしないと思うし、温泉のPRには良い拠点だと思う。

・登別は全国的に知名度は高いし、通り過ぎた時に何かしら買い物をしてもらえれば結構違うのではないかと思う。ウポポイが出来て観光客が増えても、温泉に泊まらない客はただ通り過ぎるだけになってしまう。

・市民にアンケートをとると、あった方が良いとなると思う。その総意を市役所が組み入れて、民間と協力してやりましょうというところからスタートしないと絶対に出来ないと思う。建物が出来るまでは行政にかかることばかりである。

【本庁舎について】

～登別市本庁舎建設基本計画の中間案は、１月２１日に開催する全体会議で情報提供を行う～

（意見）《部会員》

・来年度中期財政見通しを作成することになっているため、本庁舎に対する経費をどう確保するか検討することになる。

・予算の目処がついていないのならば、設計までは進まない。予算がないのに計画を進めてどうするのか。

　→《事務局》基本構想と基本計画まで作っておけば、お金が準備出来て庁舎を

建設する際の作業にかかる時間を短縮する事ができる。お金が準備できて

から作業を開始すると時間がかかってしまうため、それまでに構想や計画

を作っておくという考え。

・お金の目処が決まってから、範囲内で構想を考えるというのが普通ではないのか。

→《事務局》実施設計をしないと金額を出せないということもある。１月２１

日の全体会議で基本計画の案を情報提供させていただき、その後パブリッ

クコメントで市民の皆さんから幅広く意見を求める場を作る。部会の皆さ

んも気になることがあれば、会議の場やパブコメ、次回の部会などで意見

を出して欲しい。

【次回の開催について】

・全体会議が終わったあと、１月２８～３０日のどこかの日程で開催する。内容は、本庁舎について話し合いをする。